



戦国武将も登場!!

マンガ「東本願寺誕生」



年間行事がひと目でわかる
イベントカレンダー

京都東本願寺 Walker

TAKE
FREE



四季を感じられる
絶景庭園

絵付け体験、名物おはぎ、
老舗の豆腐、うなぎランチetc.

門前町さんぽ

職員さんのおすすめポイント付き!

境内の 楽しみ方



世界最大級の木造建築・御影堂 誰でも参加OKの法話

かわいい東本願寺グッズ 非公開の空間で精進料理

黄金に輝く阿弥陀堂



私たちがご案内!



東本願寺って どんなところ？

京都駅近くに広大な敷地を有する

世界最大級の
木造建築が大迫力です

親鸞聖人を宗祖とする真宗大谷派の本山である東本願寺。正式名称を「真宗本廟(ほんびょう)」といい、地元では「お東(ひがし)さん」との通称で親しまれている。

創建は、1602(慶長7)年。

江戸時代には4度の火災に遭遇したが、そのたびに全国の門徒の尽力により再建され、今日の偉觀となっている。

現在、境内にある建物のほとんどは明治以降に再建されたもので、御影堂、阿弥陀堂、御影堂門、阿弥陀堂門、鐘楼、手水屋形の6棟が、2019(令和元)年に国の重要文化財に指定されている。

広大な敷地をゆっくりと参拝しながら、東本願寺が大切にしている教えにふれてみるのはいかがでしょうか。



「御影堂」は、和様の道場形式の堂宇で、内陣・外陣・参詣席に分かれている。重要な行事はここで行われる



厳かな雰囲気の朝のお参りもおすすめ



京都駅から7分
心落ち着く
癒やしのお寺

①京都駅から程近い場所にありながら、一歩中に入ると静かで、なんとも言えない居心地のよさを覚える。自然と心が落ち着くところが魅力



飛地境内の涉成園では
季節の移ろいを感じます



東本願寺を参拝する際に
ぜひ訪問したいのがここ。
春の桜、初夏の新緑、秋の紅葉と、季節を問わず
美しい(→P6・7)

東本願寺DATA

■京都市下京区烏丸通七条上ル
□075-371-9210(参拝接待所)
□3~10月5:50~17:30(閉門)、
11~2月6:20~16:30(閉門)
■無料なし
■なし
□①京都駅より徒歩7分



御影堂(右)、阿弥陀堂(左)。親鸞聖人の御真影を安置した「廟堂」(墓所)がその起源であることから、ご本尊を安置する「阿弥陀堂」よりも「御影堂」が大きく、中央に位置する

【親鸞聖人ってどんな人？】

平安時代末期、
京都で生まれ9歳で出家

平安時代末期の1173(承安3)年、京都に誕生した親鸞聖人。幼くして両親と別れ、9歳で出家。比叡山で20年間修学するも、深まる苦悩を抱えながら、29歳で下山した。比叡山を下山後、法然上人と出会い念佛に帰依。

波瀬の人生!?
90年の生涯

その後、念佛の教えに対する迫害での流罪に遭った親鸞聖人。さらに、晩年には息子の義絶(勘当)など、波瀬の人生を過ごしながらも、1262(弘長2)年、90年の生涯を閉じるまで、多くの人に念佛の教えを広め続けた。

主著『教行信証』の直筆本は国宝!

多くの著作を遺した親鸞聖人。6巻から成る大著『顕淨土真実教行証文類』(『教行信証』)は、主著として、また浄土真宗の要の書として現在も大切に受け継がれている。真宗大谷派が所蔵する直筆本(坂東本)は、国宝に指定されている。

3

2

5
13:00

キャラクターもかわいい 東本願寺グッズ

お買物広場には、文具や手ぬぐいなど、東本願寺の公式キャラクターとして活躍する「鸞恩(らんおん)くん」、「蓮(れん)ちゃん」、「あかほんくん」が描かれたグッズも豊富にそろう。普段使いできるものが多いので、旅の思い出としてぜひ購入したい。



1.かほりのふくろ(5袋入り)¥1,350。東本願寺をイメージした文箱。引き出しや財布などに忍ばせて楽しんでもOK。2.鸞恩くんのキャラクターマグカップ¥1,760 3.手提げバッグ¥660~

6
13:30

大迫力の 御影堂門で 記念撮影

御影堂の正面にある東本願寺の正門で、木造建築の二重門では日本一の高さを誇る。楼上には、浄土真宗の根本道場である意味を示す「真宗本廟」の額が掲げられ、堂内には釈迦如来・弥勒菩薩・阿難尊者の三尊(非公開)を安置。



門に敷居がないのが特徴。すべての衆が分け隔てなく教えに触れるようとの願いが込められている



ココをCheck!

高山さんの
おすすめポイント
「ケヤキの一枚板でできている中央の扉は必見です。1か月前までに5人以上で予約していただくと、門の上部に上って参拝することが可能です!」

柱の柱根巻の
獅子たちにも注目。南には1体だけ、うとうとする眠り獅子が

参拝後は
しんらん交流館でひと休み



東本願寺の北側、法話などを定期的に開催するほか、ギャラリー展示も行う施設。その一角に「カフェFIKA花屋町」が併設されているので、休憩場所として利用したい。日替りランチや弁当、スイーツなどがそろう。

京都府下京区諏訪町通六条下ル上柳町199番地 075-351-8800(カフェFIKA花屋町)しんらん交流館9:00~18:00、土日祝9:00~17:00※「カフェFIKA花屋町」の営業時間・休みはFacebookで確認

4
11:30

通常非公開の特別空間で 精進料理「お斎」を堪能

「お斎(とき)」は法事や仏事の時にいただく精進料理だが、予約をすると誰でも食べられるのでランチに利用したい。しかも食事ができるのは、非公開の「白書院」。普段は味わうことのできない非日常的な空間で、お寺ならではの料理に舌鼓。



太田さんの
おすすめポイント
「季節の食材を使は
ずか、春の法要期間は粥膳、報恩講(→P12)期
間は報恩講お斎になる
など、ご参拝の季節で
内容が変わるもの楽し
みの一つです!」



①庭園や能舞台に面
していて眺めも抜群
②大人¥3,000、子供
(~8歳)¥1,000※2週
間前までに要予約。
受付は1人~[11:30
~13:30] 075-371-
9210(参拝接待所)

3
11:00

阿弥陀堂で 黄金に輝く浄土の 世界に触れる

①本間中央のご本尊・阿弥陀如来を安置し、一般の寺で言う本堂に当たる建物。内陣は『仏説阿弥陀経』に説かれる浄土の世界を表現していて、本間、左右余間の天井や柱、壁まで総金箔で飾られている。

ココをCheck!



②渡り廊下には明治の再建時に使った木材運搬用の大そりと、強度を高めるために麻に髪をより合わせた毛綱の展示も

③御影堂のすぐ横に位置する阿弥陀堂

細部にわたる
装飾の美しさに感嘆



東本願寺の北側、法話などを定期的に開催するほか、ギャラリー展示も行う施設。その一角に「カフェFIKA花屋町」が併設されているので、休憩場所として利用したい。日替りランチや弁当、スイーツなどがそろう。

京都府下京区諏訪町通六条下ル上柳町199番地 075-351-8800(カフェFIKA花屋町)しんらん交流館9:00~18:00、土日祝9:00~17:00※「カフェFIKA花屋町」の営業時間・休みはFacebookで確認

ココをCheck!

●境内の屋根の隅っこをよく見ると動物や植物をかたどったさまざまな飾り瓦が存在。屋根にも注目してみて



1
10:00

親鸞聖人の御真影を安置 ごしんねい ごせいどう 御影堂にお参り

真宗大谷派の崇敬の中心をなす重要な建物。木造建築としては世界最大級で、多くの参拝者が聞法できるよう、堂内には927枚もの畳が敷かれている。外観はもちろんが、中に入ると規格外の大きさにさらに驚く。

2
10:10

1日4回実施! お坊さんによる法話を聞く!

全国の真宗大谷派の僧侶による法話を毎日実施。御影堂では7:30ごろから晨朝法話(約15分)、10:10からと13:10からは真宗本廟法話(各約25分)、しんらん交流館(→P5)では定例法話(約60分)として14:30から行われる。



三上さんの
おすすめポイント
「どなたでも無料で聴
聞可能なので、参拝さ
れた際に法話を行って
いれば、ぜひお立ち寄
りください。じっくり
聞くならしんらん交
流館へお越しください!」



鮫島さんの
おすすめポイント
「参詣席にある柱をよ
く見ると、塗りが薄くな
っていることがわかります。御影堂には多くの方の参拝があり、柱を支えとして使用さ
れているためです」

境内のほぼ中央に立つ/
迫力満点の木造建築



職員さんがおすすめポイントを解説!

東本願寺の 歩き方



ただ歩いて回るだけでは、
もったいない。職員さん視
点で教えてくれるポイントと
合わせて巡ると、東本願寺
参拝が数倍楽しくなる!

「境内や建物にはまだ知らない魅力がいっぱい。
法話や精進料理などぜひ体験してみてください!」

境内には重要文化財がたくさん/

建築様式やエピソードを知れば、奥深い魅力をもっと感じられる。

下珠数屋町通の正面にある「阿弥陀堂門」は、切妻造・唐破風付きの四脚門。菊花・桐の紋があり、江戸時代には「唐門(からもん)」と呼ばれていた。



※2022年10月まで修復中

ダイナミックな造形の龍の水口が印象的な「手水屋形(ちょうずやかた)」。建立の理由は、一説では手を洗い、身なりを整えるために建てられたとか。



ベストシーズン
3月下旬～
4月上旬



桜の時期の傍花閣

珍しい楼門造で、園内の中でも特に個性的な建築物。傍らには桜並木があり、3月中旬の青い空を入れて明るい春の風景を

青い空を入れて 明るい春の風景

桜は空を広く入れて明るいイメージで写すのが最大のポイントです。園内でも特に特徴のある傍花閣の外観を生かすアングルにもこだわって撮影しましょう。

回棹廊

縮遠亭(しゅくえんてい)のある北大島と丹楓渓をつなぐ木造橋。1884(明治17)年ごろに再建され、一段高くなっている中央の棟は、柿(こけら)葺切妻造唐破風(からはふ)屋根と、池に張り出した部分に低い高欄が付けられているのが特徴。

遠近感を意識して 雰囲気のある写真に

縦で撮影するのがおすすめ。池の手前にある草花を入れてぼかすなど、遠近感を生かして撮影してみて、自然との調和や、静かな和の雰囲気が写真からも伝わります。

❶唐風屋根の天井の掛け釘は、かつて来客時に金灯籠をつり、火をともしていたそう

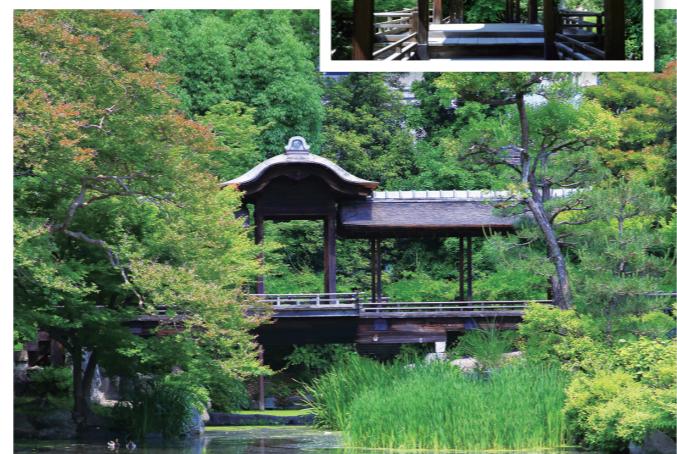


紅葉の丹楓渓

回棹廊の北側にあり、印月池沿いに設置された園路の両側にあるカエデが、秋になると見事な紅葉を見せる。「丹」とは朱色を表す言葉で、紅葉の美しい渓谷を模した一角で、情緒ある風景と共にゆっくりと散策を楽しもう。

ダイナミックな 紅葉の写真が撮れる

少し低いアングルから見上げるような構図で撮影すると、紅葉をダイナミックに写すことができます。立体感の出る光の角度を意識して写してみてください。



ベストシーズン
4月下旬～
9月下旬

東本願寺から徒歩5分の飛地境内へ！

涉成園ベストビュー 5選

園内には「涉成園十三景」と称される美しい建物や景色が点在。なかでもえりすぐりのビューポイントをご紹介。



冬も
ステキ！

❷雪が橋や木々に降り積もる幻想的な景色と京都タワーのコラボは必見

京都タワー、池、橋！
ここならではの一枚を
広角レンズで印月池と侵雪橋、京
都タワーまで収めた構図で写す
のがおすすめです。京都タワーを
画面のどこに持ってくるかにこだわって工夫
してみてください。



印月池から見る 侵雪橋と京都タワー

庭園の6分の1を占める大きな池が印月池。東山から昇る月影が水面に美しく映ることから、この名前が付いたという。丹楓渓から南を望むと侵雪橋と近代的な京都タワーの共演が楽しめ、鏡のように池の水面に映り込む景色もまた一興。

滴翠軒

園内で最も北にあり、縁側を池に張り出した書院造の平屋建で池に落ちる小滝が名称の由来。滴翠軒と直角に配置され、吹き放しの渡り廊下でつながっているのが「臨池亭(りんちてい)」。どちらも通常内部非公開。

逆光を使って キラキラもみじ撮影

新緑の時期には、さわやかな青もみじが美しいので、もみじからのぞくような構図でパチリ。逆光をうまく使って、もみじの葉っぱをキラキラさせて撮影しましょう。



ベストシーズン
4月上旬～
5月下旬



◆ 観賞ポイント

9:00～10:00がおすすめ
開門直後は人が少なく、空気もすがすがしい

ベストシーズンは春&秋

園内が赤付く桜や紅葉の時期は格別

お茶室の利用も可
※参拝接待所まで申込
一部の建物は昼食や展示会場として使用可



スペイン料理を立ち飲みスタイルで

①ミートローフ￥480(手前)、ラタトゥユ￥350(奥左)、キッシュ￥380(奥右)

BAR Gaudi

075-708-3496

隠れ家の存在のスペインバル。パスタやリゾット、おつまみ系などバラエティ豊かなスペイン料理を豊富なお酒と共に味わえる。一人でふらりと立ち寄る客も多い。

午前中には完売必至の名物



①つぶあん(右)、きなこ(左)、こしあん(奥)各￥200。
きなこの中にはこしあんがたっぷり入っている

いまにしけん 今西軒

075-351-5825

1897(明治30)年創業のおはぎ専門の老舗。一から手作りし、つぶあんは2日、こしあんは3日かけて丁寧に作る。お昼までには完売することが多いので、早い時間に訪問したい。

京都都市下京区烏丸五条西入ル筋目下ル横瀬町
312 ①9:30~売切れまで、彼岸入り~中日、お盆8:00~
休業、第1・3・5月、7・8月は月休
②東本願寺より徒歩7分

焼き菓子の店 クロバー

075-343-1241

1940(昭和15)年創業のブライダルケーキ・引菓子専門店が、ショップ限定で販売する焼き菓子が人気。レモンケーキやチーズケーキ、ショーキークリームなど、手みやげにも好適。

京都都市下京区室町通五条下ル大黒町196-10
①10:30~18:30
②毎日なし
③東本願寺より徒歩8分

ついつい手が出る 小さな焼き菓子

①レモンケーキ(2個入り)￥220。レモン風味の生地にホワイトチョコをトッピングした小さなケーキ

F そば料理 蕎麦の実よしむら

075-353-0114

国産のそばの実を石臼でひき、職人たちが手打ちする。単品からセット、自家製のそばこうじを使った料理までメニューも豊富。そば茶スイーツもあり、カフェ使いもできる。

①京都都市下京区坂東屋町283 シゲツビル
1F ②17:00~23:30(L0)
フード22:30、ドリンク23:00、自21:00~
22:00(L0フード21:00、ドリンク21:30)
③毎日15:00~20:00(L0)
④50人回なし⑤東本願寺より徒歩9分



国産そばの実使用 豊かな風味が自慢

歴史と伝統文化が香る寺内町をぐるっと散策 門前町おさんぽMAP

町家や仏具・念珠店をはじめ、飲食店などが点在!
2023年には東本願寺前に「市民緑地」が整備され、さらににぎやかに。

B 京扇堂

075-371-4151

1832(天保3)年創業の京扇子の老舗で、扇子の絵付け体験教室を毎日実施。必要な道具はすべてそろっているので、自分のアイデアだけを持って行けばOK。製作工程も見学できる。

①京都都市下京区東洞院通正面上ル筒金町46 ②9:00~17:00、
自10:00~18:00、絵付け体験教室9:00~10:30~、13:00~、
15:00~、自10:00~13:00~、15:00~③5台(無料)④東本願寺より徒歩2分
⑤所要時間は約90分。絵をせるコツはスタッフが教えてくれるので絵心がなくても大丈夫



個性あふれる漬け野菜が並ぶ
ランチプレートが秀逸!



A 漬け野菜 isoism 【イソイズム】

075-353-5016(予約)、075-708-5686(当日変更)

ゴボウやトマトなど12種の漬け野菜を盛り合わせた彩り豊かなランチプレートが話題。味噌や白ワインなどに漬け込んだ京都の旬野菜を、いろいろなアレンジで楽しめる。

①京都都市下京区七条通烏丸西入ル中居町114 ②11:30~、
12:00~、13:00~、13:30~の75分制、17:00~23:00(L022:00)
③不定休④47席⑤東本願寺より徒歩3分



京扇子の老舗で オリジナル扇子を作ろう

地元サラリーマン御用達ランチ



①市は秘伝のタレで仕上げたうなぎ丼と、(冷やし)うどんのセット￥900。米は京都産のコシヒカリを使用

D まごくそう 枳殼荘

075-371-7781

手ごろな「天ぷら定食」をランチ限定で、中庭に臨む個室で食べられる。1日10食限定なので予約が確実。ほか、前日までの予約で京名物を使ったコースや懐石(￥3,300~)もある。

①京都都市下京区河原町七条上ル筋目西入
②11:00~14:00(L013:30)③不定休
④10席⑤なし
⑥東本願寺より徒歩5分



地元の食を支える、 豆腐の老舗

①豆乳￥300(手前右)、京とうふ￥200(手前左)、黒ゴマ入りおばろとうふ￥200(奥左)、ゆば￥500(奥右)

C 京とうふ 並河商店

075-371-1722

1925(大正14)年創業。京都のダシ文化に合うさっぱりとした味わいが特徴。昔ながらの味を守りながらも、時代に応じた商品にもチャレンジし、季節商品も店頭に並ぶこともある。

①京都都市下京区東洞院通正面上ル筒金町50
②6:00~20:00③毎日
④なし
⑤東本願寺より徒歩2分



東本願寺前的好立地で モーニング

①モーニングメニューのカスクードサンドセット(サラダ・ドリンク付き)￥850。写真はハウスブレンド



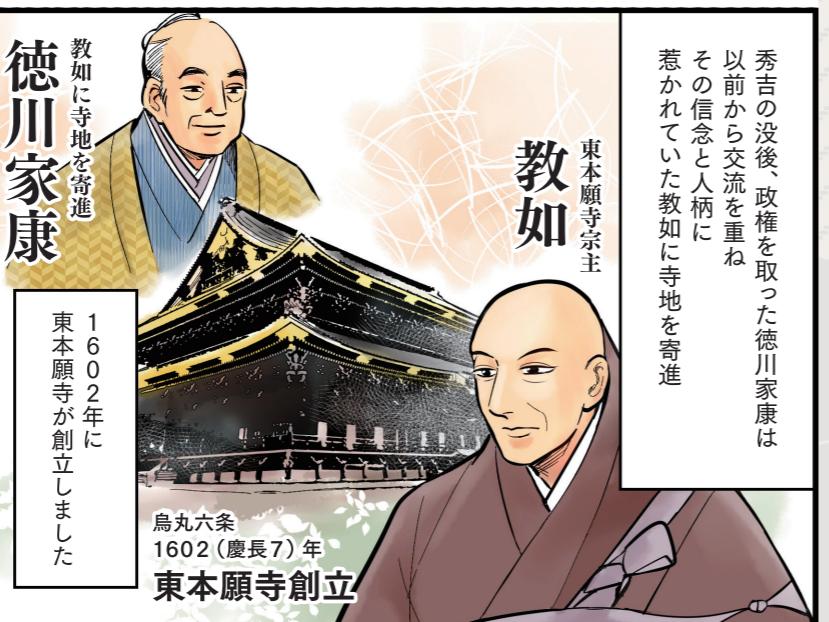
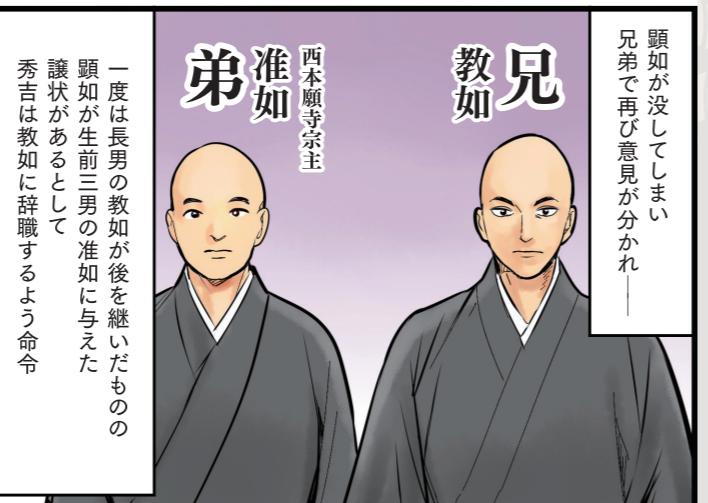
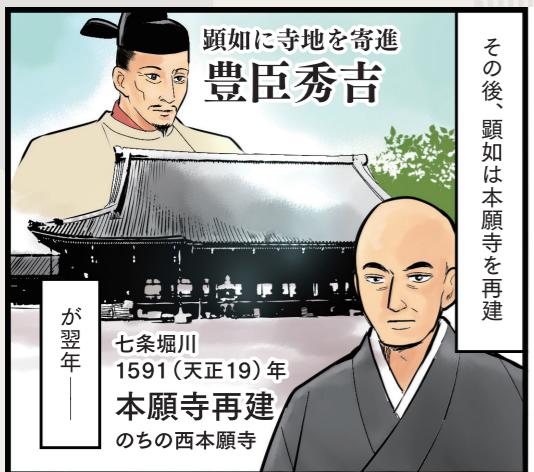
料理旅館で 優雅なランチタイムを



⇒大坂本願寺の復元模型図
写真提供：真宗大谷派難波別院

難攻不落の城 大坂本願寺とは

1496(明応5)年に蓮如上人が建てた隠居所に始まる浄土真宗の寺院で、現在の大坂城があるところにありました。大坂(石山)本願寺を中心に防衛のための堀で囲まれた「寺内町」があり、信徒や信徒以外の商人、農民が集住していたそうです。商業活動が活発になり、大阪の経済発展の中心となりました。

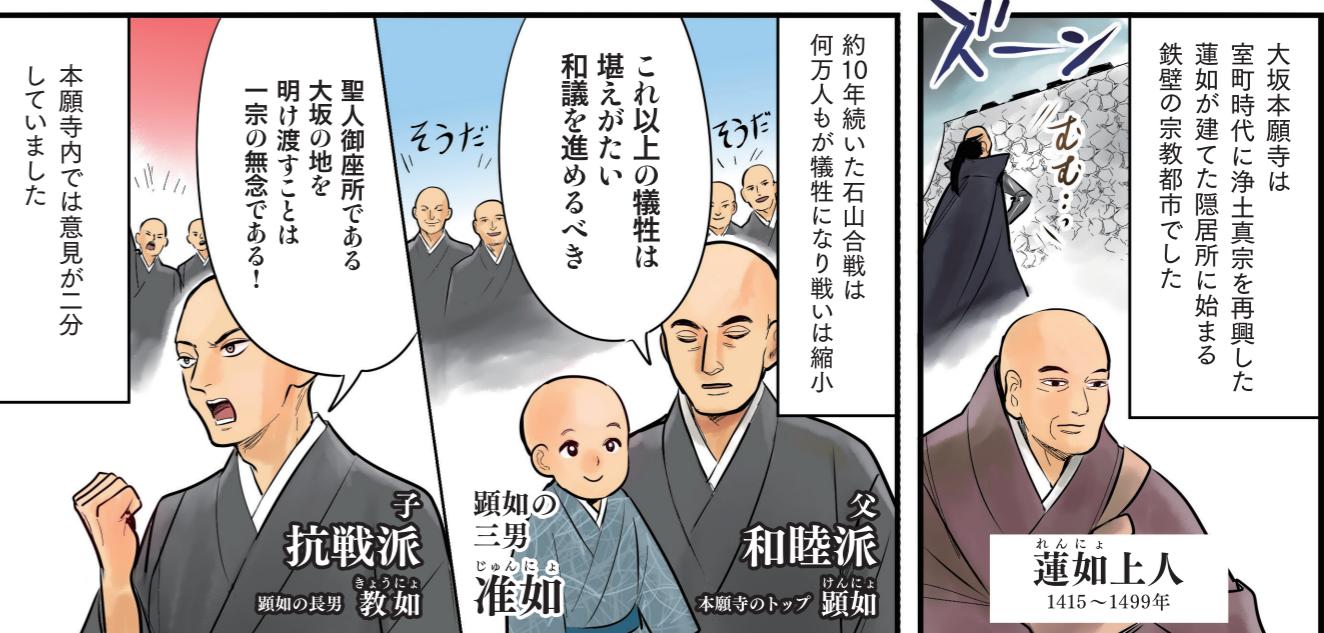
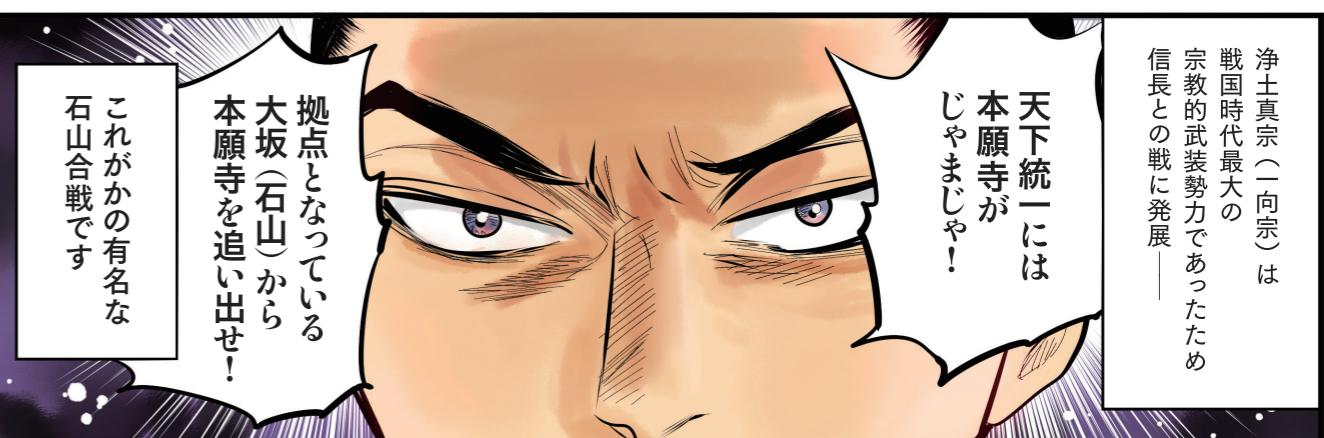


マンガで知る 東本願寺誕生

—京都駅前にある2つの「本願寺」—



浄土真宗最大の宗派
東本願寺を本山とする真宗大谷派
西本願寺を本山とする浄土真宗本願寺派



【真宗教団連合について】

現在、東西本願寺をはじめとする真宗十派で「真宗教団連合」を結成し、共に活動を行っています。

▶ 詳しくはこちら <https://www.shin.gr.jp/>



東本願寺イベントカレンダー

年間の各種法要から、2023年春に迎える50年に1度の慶讃法要まで、東本願寺の行事をチェック！



1/1～7

しゅしょうえ
修正会



仏恩報謝(ぶとんほうしゃ)の思いを持って新年に臨む仏事。元旦5:30から門首が宗祖親鸞聖人の御真影に新年の挨拶をし、その後6:00から修正会が営まれる。



■阿弥陀堂・御影堂
□1/1の5:30～献杯の儀に引き続き修正会(開門は5:00)
※参拝者におトソの振る舞いあり
1/2～7の7:00～修正会



4/1～3

春の法要

1日は、聖徳太子など先師の遺徳をしのぶ「師徳奉讃法要」「親鸞聖人御誕生会(音楽法要)」、2日は「全戦没者追弔法会」、3日は追弔会が営まれる。法要後は記念講演なども開催。



■阿弥陀堂・御影堂
□法要により異なる
※期間中、涉成園では粥膳の振る舞いなどさまざまなイベントが行われる

11/21～28 ほおんこう
報恩講

真宗門徒にとって一年で最も大切な仏事で、宗祖親鸞聖人の御祥月命日までの1週間行われる法要。25日は親鸞聖人の生涯を著した「御伝録」の挙読、28日は「坂東曲(ばんどうぶし)」が行われる。

■阿弥陀堂・御影堂
□5:30～17:00(閉門)
※法要により異なる



4/15

立教開宗記念法要

1923年に當まれた立教開宗700年記念法要を契機とし、毎年4/15に立教開宗記念法要が行われる。この法要は真宗十派の共通勤行である「和訣正信偈」が唱和される。



■御影堂
□9:30～10:30
立教開宗の書「教行信証」

4/17～5/9 れんによしょうにんごいどうちゅう
蓮如上人御影道中

蓮如上人が歩いたとされる往復約500kmの道程を御影と歩く300年以上続く仏事。毎年4/17に東本願寺を出発し、福井県吉崎別院での法要後、再び東本願寺へと戻る。

■阿弥陀堂(4/17蓮如上人御影吉崎別院御下向式)、吉崎別院(4/23～5/2御忌法要)、阿弥陀堂(5/9蓮如上人御影吉崎別院御帰山式)

3・9月

ひがんえ
春秋彼岸会

春分・秋分の日を中日とし前後3日間を合わせた7日間に行われる。私たちのいる世界を「此の岸」、浄土を「彼の岸」と呼び、迷いの世界から浄土の岸に到ることを願う仏事。



■阿弥陀堂・御影堂
□7:00～

8/14～16 東大谷万灯会

大谷祖廟、東大谷墓地へ涼しい夜間のお盆参りができるよう、境内に参拝者の足元をともす約10,000個の提灯が献灯。期間中は、万灯会お盆法要ほか、3夜連続で法話も行われる。



■大谷祖廟
■京都府東山区円山町477
□075-561-0777
□18:00～21:00



7/14・15 うらほんえ
盂蘭盆会

お盆は正式には盂蘭盆会といい、亡き人を通して、仏法聴聞のご縁をいただく機会として迎える仏事。毎年7/14・15に盂蘭盆会の法要が営まれる。

■阿弥陀堂・御影堂
□7/14 法要15:00～、
7/15 法要7:00～、8:00～、
16:00～

12/20

すずはら
お煤払い

全国の門徒や奉仕団の人々が行う、一年を締めくる大掃除。堂内で横一列となつていっせいに割り竹で畳をたたき、大うちわでぼごりを室外へあおぎ出す京都の名物風景。



■阿弥陀堂・御影堂
□9:00～



＼SNS、WEBサイトでも情報を発信中！／

▼HP



▼Twitter



▼Facebook



▼YouTube



「京都 東本願寺Walker」2022年8月10日発行

●発行人／加瀬典子 編集人／稲葉一朗
●発行／株式会社角川アスキー総合研究所
〒113-0024 東京都文京区西片1-17-8

<https://www.lab-kadokawa.com/>

●印刷・製本／共同精版印刷株式会社

●お問い合わせ 角川アスキー総合研究所サポート事務局
TEL 0570-00-3030 <https://www.lab-kadokawa.com/support/>

※製造不良品につきましては上記事務局にて承ります。記述・収録内容を超えるご質問には、お答えできませんので、ご了承ください。サポートは日本国内に限らせていただきます。

23年 春 宗祖親鸞聖人御生誕八百五十年・
立教開宗八百年慶讃法要

Shinran
500th
SSS

■慶讃法要とは？

宗祖親鸞聖人の御誕生と、浄土真宗の開宗を記念し、50年ごとに開催される大法要。慶讃法要には毎回テーマが設けられる。今回は「南無阿弥陀佛 人と生まれたことの意味をたずねていこう」をテーマに掲げ、法話などをあらゆる事業が展開される。

■どんなことをするの？

阿弥陀堂と御影堂の両堂で同時に勤行があり、両堂それぞれで法話が行われる。法要前後の時間には、境内でさまざまな催し物が開催されるほか、渉成園・市民緑地でもイベントを実施する。

※本書の無断複製(コピー、スキャン、デジタル化等)並びに無断複製物の譲渡および配信は、著作権法上での例外を除き禁じられています。また、本書を代行業者等の第三者に依頼して複製する行為は、たとえ個人や家庭内での利用であっても一切認められておりません。

©2022 KADOKAWA ASCII Research Laboratories, Inc. Printed in Japan

■開催日時は？

- 第1期法要3/25㈯～4/8㈰
- 第2期法要4/15㈯～29㈰
- 讃仰期間4/9㈯～14㈰

■参加方法は？

期間中、個人での参拝は自由。阿弥陀堂・御影堂に設けられた個人参拝席(300席程度)を利用できる。

▼慶讃法要
HP

